

賃貸住宅に住む単身者の暮らし ～住まいの現状とライフスタイル～

「単身世帯」は、「夫婦と子」の世帯数を超え、現在最も多い世帯の形となっている。本レポートは、現状単身者の大多数を占めている、賃貸アパートや賃貸マンションなどの賃貸住宅に居住する人々について、その住まいと暮らしの実態と意識をまとめたものである。

■間取りはワンルーム～1Kが過半数、3点式ユニットバスは2割弱

- ・アパート（木造・鉄骨）とマンション（鉄筋コンクリート）がほぼ半々の割合。
- ・築20年以上のワンルーム～1Kでは1口コンロや3点式タイプのユニットバスが多いが、築10年未満では少なく、キッチンや浴室の設備は向上している。

■住まい選びの重視点は「住居費」「立地・環境」「トイレ独立」 女性を中心に、キッチン設備・収納が重視されている

- ・「浴槽」「2口以上のコンロ」などの設備や「耐震性」「セキュリティ」も上位に。
- ・女性は住まい選びの際の重視ポイントが多い。特にキッチン設備、収納は重要。

■朝食は3～4割、夕食は2～3割の人が「毎日」家で料理している

- ・夕食を「週3回以上」家で料理して食べる人は、半数を超える。
- ・お弁当を作っている人は20～30代女性に多く、週3回以上作る人が約4割。

■入浴はシャワー中心だが、お湯につかる入浴も行っている

- ・週1回以上お湯につかる割合は、夏季約4割、冬季約6割。
- ・「本当はお湯につかりたい」と思う人が、男性56.9%、女性が77.2%。

■今後は「背のびをせずに、身の丈に合った生活をしたい」

- ・「身の丈に合った生活」を約8割が望む。女性は特に「家のことを楽しむ暮らし」を希望。

調査概要

- 定量調査
- 調査時期：2014年6月
- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：一都三県在住 20～50代男女
賃貸住宅居住、未婚ひとり暮らし社会人
- 回答者数：1186名
- ※詳細は最終ページ参照